

令和4年度 札幌地区の研究活動

研究部長 札幌市立川北小学校
校長 橋本 隆

1 はじめに

札幌市小学校長会では、令和2年度より新たな六つの専門部体制による新研究を進めてきた。専門部は三つずつのグループに分け、研究スタートの時期を1年間ずらして取組を始めた。今年度は令和3年から2年研究をスタートした研究グループとすでに新たな研究サイクルに入った研究グループが同時に研究を進める初めての局面となり、互いの研究をどのように取り入れていくかが問われる年である。



◇令和4年10月研究大会◇

2 研究計画

【共同研究主題】

ともに未来を創造するたくましくしなやかな「さっぽろっ子」を育む豊かで確かな小学校教育の実現

この研究主題の設定に当たって、「札幌市学校教育の重点」そして「全連小・道小の研究の視点」の関連を整理し、今年度は以下の重点を設定した。

- 今日的な課題を踏まえ、明日の学校経営に生きる研究を推進し、速やかな情報共有に努める。
- 教職員が子どもと向き合える時間を一層確保できるようにするとともに、人材育成を含め、潤いのある学校とすべく「学校の働き方改革」を進める。
- 札幌市教育委員会へ一層発信できる研究とし、信頼感に基づく互惠関係を構築する。
- 新専門部6部体制の研究内容と重点、研究推進の方法について検討・検証・改善を進める。
- 具体的な取組を基にしながらも、事例研究にとどまることなく、校長の果たす役割と指導性について、明日の学校経営に資する汎用性のある研究を進め、校長の職能の向上を図る。
- 教育活動の基盤となる人間尊重の教育について各専門部でも取り上げ、研究を進める。
- 各部の研究成果や各校の取組の一層の情報共有を図る。

【研究組織】

(1) 共同研究推進委員会（年間8回開催・委員数18名）

6専門部の研究推進委員と研究部、担当副会長により、各専門部が研究内容等を交流協議することを通して、相互に連携を強化し、実践的な研究を企画・運営・推進する。

(2) 専門部研修会

「学ぶ力」育成部、「豊かな心」育成部、「健やかな体」育成部、学びの支援部、教育環境部、人材育成部の6部で構成。各部ごとに研究副主題・重点を設定し研究活動を行う。

(3) 支部研修会

行政区の10区を支部とし、学校経営に必要な研修や情報交換などに取り組む。

【全市的研究の交流と発表】

- (1) 4月総会・研修会：令和4年4月25日（月）Webと会同によるハイブリット方式
- (2) 10月研究大会（兼 道小札幌地区教育経営研究会）：令和4年10月17日（月）Web開催
- (3) 2月研修会：令和5年2月2日（木）Web開催
- (4) 3月総会・研修会：令和4年3月3日（金）開催方式検討中

【研究広報の発行】

共同研究の進捗状況と各専門部の調査・研究内容を全会員に伝えるため、事務局研究部が研究広報「鏈（つながり）」を作成し、共同研究推進委員会報告として、理事研修会を通して、各支部へと還流する。

3 研究活動

今年度は、札幌市の学校教育の包括的重点「小中一貫した教育の推進」「ICTを活用した教育の推進」に加え、重点の基盤として「人間尊重の教育」があげられた。各専門部の研究には今日的課題への取組も位置付けているので、「人間尊重の教育」についても各部の専門的な研究の視点から、より積極的にアプローチするようにしている。

また今年度も、共同研究推進委員会では研究の重点や各専門部の研究内容を交流してきた。三つずつの専門部が研究サイクルをずらして研究を進めていることで、交流により互いの研究内容をより深化させる様子が見られている。その交流の内容についても研究広報紙や支部研修会を通して全会員に還流する体制が整ってきている。

各専門部の研究副主題と研究内容は以下のとおり。

「学ぶ力」育成部	「学ぶ力」を育む教職員の主体的な動きを活性化させる校長の関わり 「学ぶ力」育成に向けた校長の関わりと学校評価にかかわる研究の推進 包括的重点を踏まえた「学ぶ力」育成に向けた校長の役割と指導性解明
「豊かな心」育成部 (今年度 65 回道小旭川大会にて研究発表)	一人一人の個性や多様性を認め合い、自他の命を大切に 支え合いながら生きる豊かな心を育む学校経営の在り方 各校の強みを生かした「豊かな心」を育む校長の役割と指導性 自尊感情や自他のかけがえのない命を大切にすることの育成
「健やかな体」育成部	心身ともに健やかな子どもを育む学校経営の在り方 健康的な体及び体力の向上に関する指導の充実を図る。 学校における保健・安全に関する指導の充実を図る。 関係団体との連携及び諸課題についての研修活動の推進を図る。
学びの支援部	一人一人の教育的ニーズに応える学校経営の在り方 通常学級の中での配慮を要する児童への指導の充実について 特別支援学級・通級指導教室での指導の充実について 不登校児童の対応について
教育環境部	未来を創る「さっぽろっ子」の育成に向けた教育環境を充実させる学校経営の在り方 新しい時代の学校の教育環境の在り方と活用方法及び校長の関わり 学校や地域の教育環境を生かした特色ある教育活動の推進 特色ある教育活動のための学校予算編成の在り方と執行に関する研修 学校の安全管理・危機管理・情報管理に対応する教育環境やシステムの充実改善
人材育成部	人材の育成と働き方改革を実現する学校経営の在り方 次世代を担う教職員の育成に対していかに指導性を発揮していくかを探る。 教職員の資質向上を図りながら「やりがい」を感じ、前向きに職務を遂行できるような働き方改革をどう進めるかを探る。

4 おわりに

コロナ禍であっても新たな研究を推進し3年がたった。研究当初はどの専門部でも「校長の役割と指導性」を追究することに戸惑いがあった。しかし各校の実践を見直し、どこに校長の役割があり、どのような指導性を発揮すべきだったのかを考えるうちに研究が具体化していった。最初の2か年の研究を終えたグループが結論付けた「校長の役割と指導性」をさらに深く捉える研究が行われている。その成果は各校で奮闘する校長の問題解決力を確実に高めている。これこそ研究の目的と考えている。